

請求の範囲

- [請求項1] ピオグリタゾンを含む、毛髪の量または質の向上、成長期毛の増加に用いるための組成物。
- [請求項2] 経口投与用の組成物である、請求項1に記載の組成物。
- [請求項3] 皮膚への局所投与用の組成物である、請求項1に記載の組成物。
- [請求項4] ピオグリタゾンを含む、幼若脂肪細胞を誘導することに用いるための、または、幼若脂肪細胞の誘導を伴う皮膚の組織生成を誘発させることに用いるための組成物。
- [請求項5] 幼若脂肪細胞が、CD34陽性PPAR γ 陽性の脂肪細胞を含む、請求項4に記載の組成物。
- [請求項6] 対象において毛髪の量または質を向上させる方法であって、当該対象にピオグリタゾンを投与することを含む、方法。
- [請求項7] 前記投与が、当該対象の皮膚への局所投与である、請求項6に記載の方法。
- [請求項8] 前記投与が、当該対象への経口投与である、請求項6に記載の方法。
- [請求項9] ピオグリタゾン投与後に、対象の毛髪の量または質を検査することをさらに含む、請求項6～8のいずれか一項に記載の方法。
- [請求項10] ピオグリタゾン投与後に、皮膚または頭皮におけるM2マクロファージの増加およびPPAR γ の発現増加を伴う皮膚の組織修復の促進の有無を検査することをさらに含む、請求項6～9のいずれか一項に記載の方法。
- [請求項11] ピオグリタゾン投与後に皮膚または頭皮におけるM2マクロファージの増加およびPPAR γ の発現増加を伴う皮膚の組織修復の促進を有する対象に、ピオグリタゾンを投与することをさらに含む、請求項10に記載の方法。
- [請求項12] 請求項6～11のいずれか一項に記載の方法において用いるための、ピオグリタゾンを含む、組成物。

[請求項13] 請求項6～11のいずれか一項に記載の方法において用いるための組成物の製造におけるピオグリタゾンの使用。